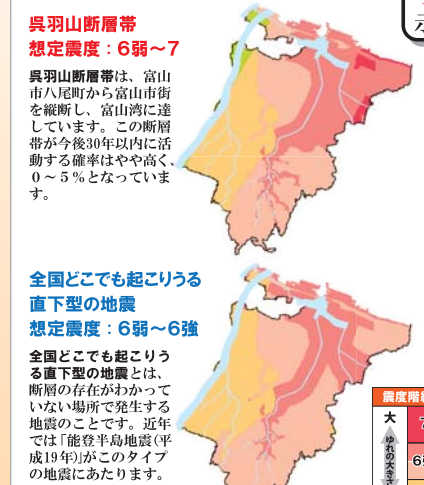


射水市地震防災マップ

阪神・淡路大震災では、犠牲者の約8割以上が住宅等の倒壊による圧死であったと言われています。このような大地震はいつでも起こるかわかりません。大地震による被害から自分や家族の生命・財産を守るためには、住宅等の耐震化を図ることが重要です。まずは、耐震診断等により住宅等の耐震性能を確認することから始めましょう。

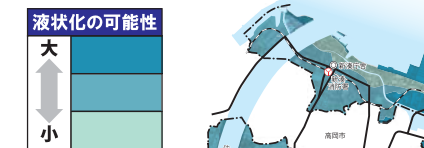


射水市に影響が大きい地震



ゆれやすさマップ

この地図は、射水市に影響が大きい「黒羽山断層帯」及び「全国どこでも起こりうる直下型の地震」が発生した際の震度を重ね合わせ、最大の震度を表したものです。

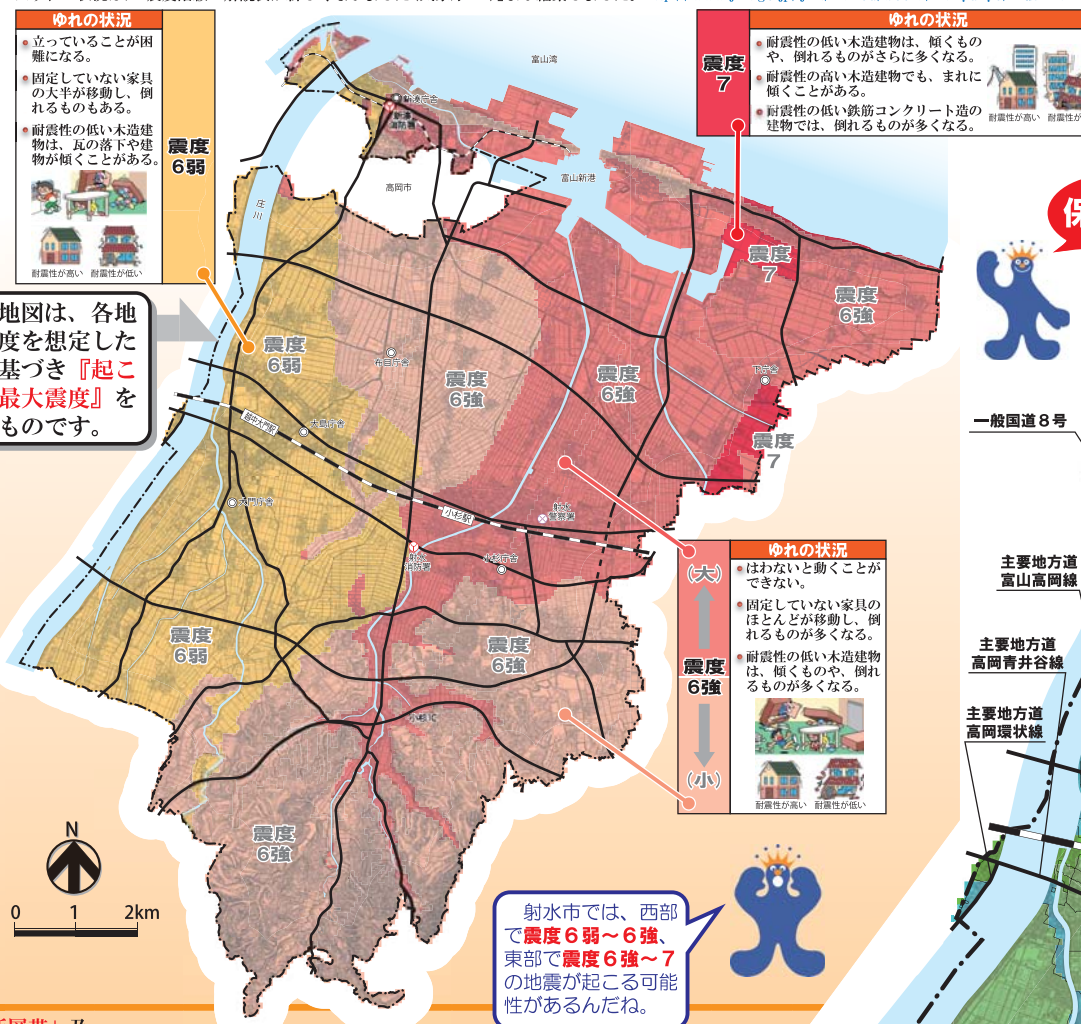


液状化可能性マップ

この地図は、射水市の地形及び地質に基づき液状化が起こりそうな範囲を示したものです。

※ 液状化可能性マップは、「液状化地域ゾーニングマニュアル[平成10年度版]平成11年1月 国土庁防災局震災対策課」に基づき、作成しています。

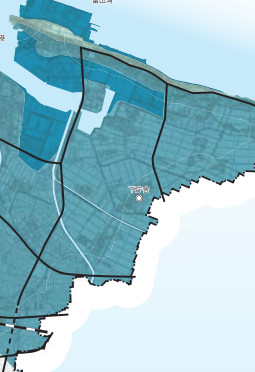
※ゆれの状況は、「震度階級の解説表が新しくなりました(気象庁HP)」より編集しました。<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kaikyuhyo/index.html>



射水市では、西部で震度6弱～6強、東部で震度6強～7の地震が起こる可能性があるんだね。

※ ゆれやすさマップは、「地震防災マップ作成技術資料(平成17年3月 内閣府)」に基づき、作成しています。

液状化発生のおき



液状化とは、地震によって地盤が液体のようになってしまう現象のことで、写真のように、道路に亀裂が入ったりすることがあるんだよ。

■阪神・淡路大震災における液状化被害状況



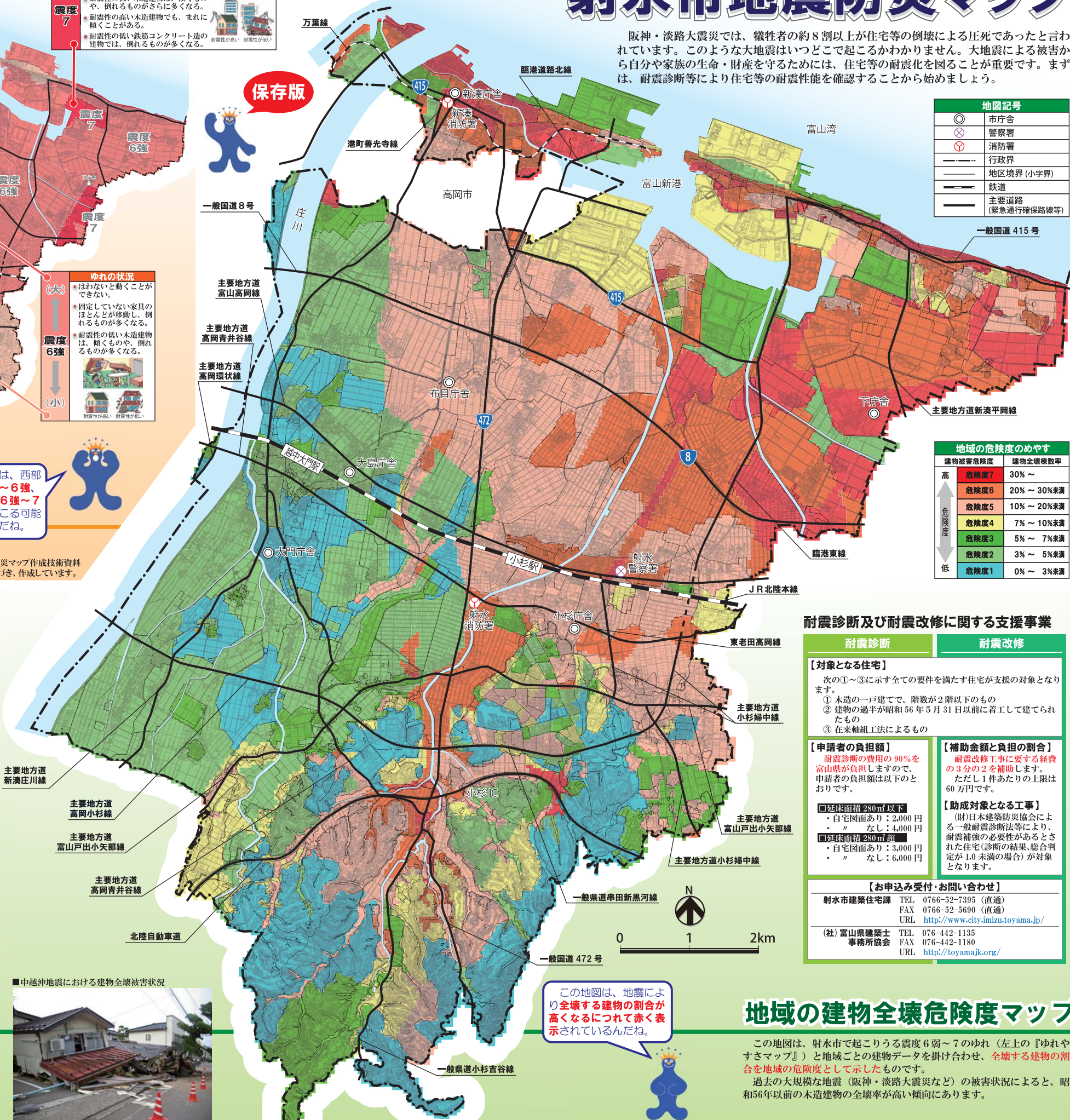
出典) 吉瀬充俊, 地震被害写真集, <http://geot.civil.metro-u.ac.jp/archives/eq/index-j.html> 首都大学東京 土質研究室, 2001-2007.

■中越沖地震における建物全壊被害状況



出典) 吉瀬充俊, 地震被害写真集, <http://geot.civil.metro-u.ac.jp/archives/eq/index-j.html> 首都大学東京 土質研究室, 2001-2007.

保存版



地図記号

○	市庁舎
⊗	警察署
⊕	消防署
---	行政界
---	地区境界(小字界)
---	鉄道
---	主要道路(緊急通行確保線等)

地域の危険度のめやす

建物被害危険度	建物全壊確率
高	危険度7 30%～
	危険度6 20%～30%未満
	危険度5 10%～20%未満
	危険度4 7%～10%未満
	危険度3 5%～7%未満
	危険度2 3%～5%未満
低	危険度1 0%～3%未満

耐震診断及び耐震改修に関する支援事業

耐震診断	耐震改修
<p>【対象となる住宅】</p> <p>次の①～③に示す全ての要件を満たす住宅が支援の対象となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 木造の一戸建てで、階数が2階以下のもの ② 建物の過半が昭和56年5月31日以前に着工して建てられたもの ③ 在来軸組工法によるもの 	<p>【補助金額と負担の割合】</p> <p>耐震改修工事にかかる経費の3分の2を補助します。ただし1件あたりの上限は60万円です。</p>
<p>【申請者の負担額】</p> <p>耐震診断の費用の90%を富山県が負担しますので、申請者の負担額は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 延床面積280㎡以下 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅図面あり：2,000円 ・ " なし：4,000円 延床面積280㎡超 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅図面あり：3,000円 ・ " なし：6,000円 	<p>【助成対象となる工事】</p> <p>(財)日本建築防災協会による一般耐震診断法等により、耐震補強の必要性があるとされた住宅(診断の結果、総合判定が1.0未満の場合)が対象となります。</p>
<p>【お申込み受付・お問い合わせ】</p> <p>射水市建築住宅課 TEL 0766-52-7395 (直通) FAX 0766-52-5690 (直通) URL http://www.city.imizu.toyama.jp/</p> <p>(社)富山県建築士事務所協会 TEL 076-442-1135 FAX 076-442-1180 URL http://toyamajk.org/</p>	

地域の建物全壊危険度マップ

この地図は、射水市で起こりうる震度6弱～7のゆれ(左上の『ゆれやすさマップ』)と地域ごとの建物データを掛け合わせ、全壊する建物の割合を地域の危険度として示したものです。過去の規模大な地震(阪神・淡路大震災など)の被害状況によると、昭和56年以前の木造建物の全壊率が高い傾向にあります。

※ 地域の建物全壊危険度マップは、「地震防災マップ作成技術資料(平成17年3月 内閣府)」に基づき、作成しています。
※ 地域の建物全壊危険度マップに使用した建物データは、平成21年1月1日現在のデータを使用しています。